

＜英国棧橋調査の余録＞ 英国西部の港湾都市・ブリストル (Bristol)

2013 年調査 (執筆担当 八尋明彦)



再開発されたウォーターフロント

2013 年の英国棧橋調査において訪れた都市である。サウス・ウェスト・イングランド地域でロンドンから西に約 170 km、カーディフから東約 70 km に位置している。人口約 42 万で英国では 8 番目の都市である。エイボン川に沿って形勢されており、ブリストル海峡に接する港湾都市である。10 世紀には毛織物貿易港として栄え、18 世紀頃には大西洋三角貿易港として、その後 19 世紀後半には港湾機能が拡張されイングランド屈指の商港となった。その後ウォーターフロントの再開発も行われ、古い港と新しい港が混在する賑わいのある空間となっている。港奥部には、ブルネルが設計した世界初の鋼製蒸気船 Great Britain 号が係船しており見学場所になっている。



係留されているグレート・ブリテン号

市内からバスで行くと、やはりブルネルが設計したクリフトン(Clifton) 吊り橋(1864 年完成、延長 412m、スパン 214m、幅 9.45m)がある。エイボン峡谷 とエイボン川にかかり、ブリストルのクリフトンとノース・サマセットのレイ・ウッズを接続している。当時、マストの高い戦艦がブリストル港まで到達できるためには、クリアランス 30m 以上の橋梁が必要であった。エイボン峡谷にかかる本橋のクリアランス 75m の景観美は、150 年前の土木構造物とは思えないほど圧巻である。 <完>



景観美を誇るクリフトン吊り橋